

2025 年 11 月 6 日

報道関係各位

株式会社カネカ
広報 (Public Relations) 部北海道沼田町と多雪地域向けオンサイト PPA を締結
ー両面受光・垂直設置工法と PPA の組み合わせで脱炭素化と災害対策に貢献ー

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：藤井 一彦）は、地方創生包括連携協定を締結（※1）している北海道沼田町に、両面受光・垂直設置太陽光発電設備（※2）を導入し、多雪地域向けオンサイト PPA（※3）を 2025 年 10 月に締結しました。事業開始は 2026 年 4 月を予定しております。

本事業では、道内有数の多雪地域である沼田町の町有施設「ほろしん温泉」に、両面受光・垂直設置太陽光発電設備と蓄電池設備を導入し、オンサイト PPA サービスを沼田町に提供し脱炭素化に貢献します。非常時には、マイクログリッド（※4）として機能することで、地域住民の避難場所や災害対策に貢献します。本事業は、北海道庁の「新エネルギー設備導入支援事業費補助金」を活用して設備を導入しています。

両面受光・垂直設置太陽光発電設備は、積雪荷重による設備破損のリスクを回避しつつ、発電量の低下を抑制できる特長を持ち、多雪地域における再生可能エネルギー活用の課題解決に貢献します。また、垂直設置型の特徴を活かして、ソーラーシェアリング（※5）にも適用可能です。本事業を通じて多雪地域向けオンサイト PPA 事業モデルを確立し、水平展開することで、多雪地域の脱炭素化と災害対策に貢献していきます。

当社は、「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”.」という考えのもと、すべての人が自然の恵みを享受し、クリーンで持続可能な資源とエネルギーを使える社会の実現に取り組んでいます。太陽電池や断熱材をはじめとする環境配慮製品を用いたトータルエネルギーソリューションで地域社会に貢献していきます。

以 上

（※1）2018 年 4 月 18 日 沼田町との「地方創生包括連携協定」締結について
<https://www.kaneka.co.jp/topics/information/in20180607/>

（※2）太陽光を東西両方向からパネルの両面で受光し、垂直方向に設置する工法を採用した太陽光発電設備。積雪の影響を軽減しつつ、日照時間が短い高緯度地域においても発電効率の維持が可能。

（※3）オンサイト PPA（Power Purchase Agreement）サービスとは、サービス施設の敷地内に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を設置事業者、団体から長期契約で購入する仕組み。

(※4) 発電・蓄電・供給を完結できる小規模な電力ネットワーク。非常時に自立運転が可能。

(※5) 農地に太陽光パネルを設置して発電を行う取組み。垂直設置型太陽電池の特徴を活かし、農業機械の使用を妨げない形での運用が可能。



両面受光・垂直設置太陽電池設置イメージ